

早稲田大学日本語教育学会 2020 年 春季大会プログラム

開催日時 2020 年 3 月 13 日 (金) 12:50~17:25

- 【会場】 早稲田大学早稲田キャンパス 3 号館 6 階(休憩室:602 教室)
- 【時間】 受付 12:20~12:50(3 号館 6 階エスカレーター横)
- 開会式 12:50~13:00(3 号館 6 階 601 教室)
- 企画① 13:05~14:05(3 号館 6 階 601 教室)
- ポスター発表 14:10~15:10(3 号館 6 階 607・608・609 教室)
- 企画② 15:15~17:15(3 号館 6 階 605 教室)
- 口頭発表 15:15~16:20(3 号館 6 階 601 教室)
- ブックセミナー 16:30~17:15(3 号館 6 階 601 教室)
- 総会 17:15~17:25(3 号館 6 階 601 教室)
- 懇親会 18:00~19:00(22 号館 8 階会議室)
- 【参加費】 会員無料・非会員 500 円 (事前申し込み不要。直接会場までお越しください。)
- 【懇親会費】 1,000 円 (参加自由。当日受付でお申し込みください。)

※本学会は紙媒体の予稿集は配布しません。予稿集は 3 月 8 日以降、学会ホームページからダウンロード可能になります。モバイル端末にダウンロード、または印刷の上、ご参加ください。

【企画①】 13:05~14:05

会場：3 号館 6 階 601 教室

ICT を活用した「生活者としての外国人」のための日本語学習支援 ―文化庁の取り組みから―

- <話題提供者>北村 祐人(文化庁国語課 専門職)
- <コメンテーター>木下 直子(早稲田大学日本語教育研究センター 准教授)
- <ファシリテーター>佐野 香織(早稲田大学日本語教育研究センター 講師)
- 濱川 祐紀代(早稲田大学日本語教育研究センター 准教授)
- 大熊 伊宗(早稲田大学日本語教育研究センター 助手)

【ポスター発表】 14:10~15:10

第一会場：3 号館 6 階 607 教室	第二会場：3 号館 6 階 608 教室	第三会場：3 号館 6 階 609 教室
(1) コミュニケーションにおける言語・非言語コミュニケーション行為とその意識―3 人会話における小集団内の役割と対人印象、人間関係の構築について― 柳 東汶 (早稲田大学大学院 日本語教育研究科 博士後期課程)	(2) 「越境」を試みながら更新される日本語教師の役割観についての一考察―芸術系大学の日本語教員のライフストーリーから― 松本 明香 (早稲田大学大学院 日本語教育研究科 博士後期課程)	(3) 仮名学習のニーズおよびタイピングと仮名習得との関連性 鄭 在喜 (早稲田大学 日本語教育研究センター 講師) 松井 一美 (早稲田大学 日本語教育研究センター 准教授)

【企画②】 15:15~17:15

会場：3 号館 6 階 605 教室

- 「まちづくり」に問われる市民性
―異なる専門、異なる立場をもつ者の協働によるまちづくりワークショップを踏まえて―
- <話題提供者> 工藤 育子(麗澤大学 講師/淑徳日本語学校 講師)
- 志賀 千晃(早稲田大学大学院日本語教育研究科 修士課程/淑徳日本語学校 講師)
- 小林 未歩(麗澤大学 4 年)
- 橋本 真衣(東京デザイナー学院 2 年)
- 田端 穂香(麗澤大学 1 年)
- 李 夢茜(淑徳日本語学校 学生)
- 林 晨(淑徳日本語学校 学生)
- NA YI ER(淑徳日本語学校 学生)
- 丁 綺南(淑徳日本語学校 学生)

【口頭発表】 15:15～16:20

会場：3号館6階601教室	
15:15～15:45	(1) 日本語会話に見られる「反復」の様態—中国語会話・英語会話と対照して— 宮内 健太郎（早稲田大学大学院日本語教育研究科 修士課程）
15:50～16:20	(2) タンデムにおける学びの実態とそのプロセス—社会文化理論の観点から— 迎 明香（早稲田大学大学院日本語教育研究科 修士課程）

【ブックセミナー】 16:30～17:15

会場：3号館6階601教室	
宮崎里司・春口淳一共編著(2019) 『持続可能な大学の留学生政策：アジア各地と連携した日本語教育に向けて』（明石書店） 宮崎 里司（早稲田大学大学院日本語教育研究科 教授） 春口 淳一（大阪産業大学 准教授）	